



水道資料館

▲水道資料館では、柳浄水場のことを詳しく学び、ろ過装置での実験やクイズもあり充実した時間を過ごしました。

やなぎ 柳浄水場を見学しました

水はどこからきて、どのように届くのか。その仕組みを調べるため、柳浄水場を見学しました。この浄水場は海上自衛隊鹿屋航空基地への水道供給を行うため昭和10年に開設されました。自分たちが普段飲んでいる水のルーツを目指して出発～！！

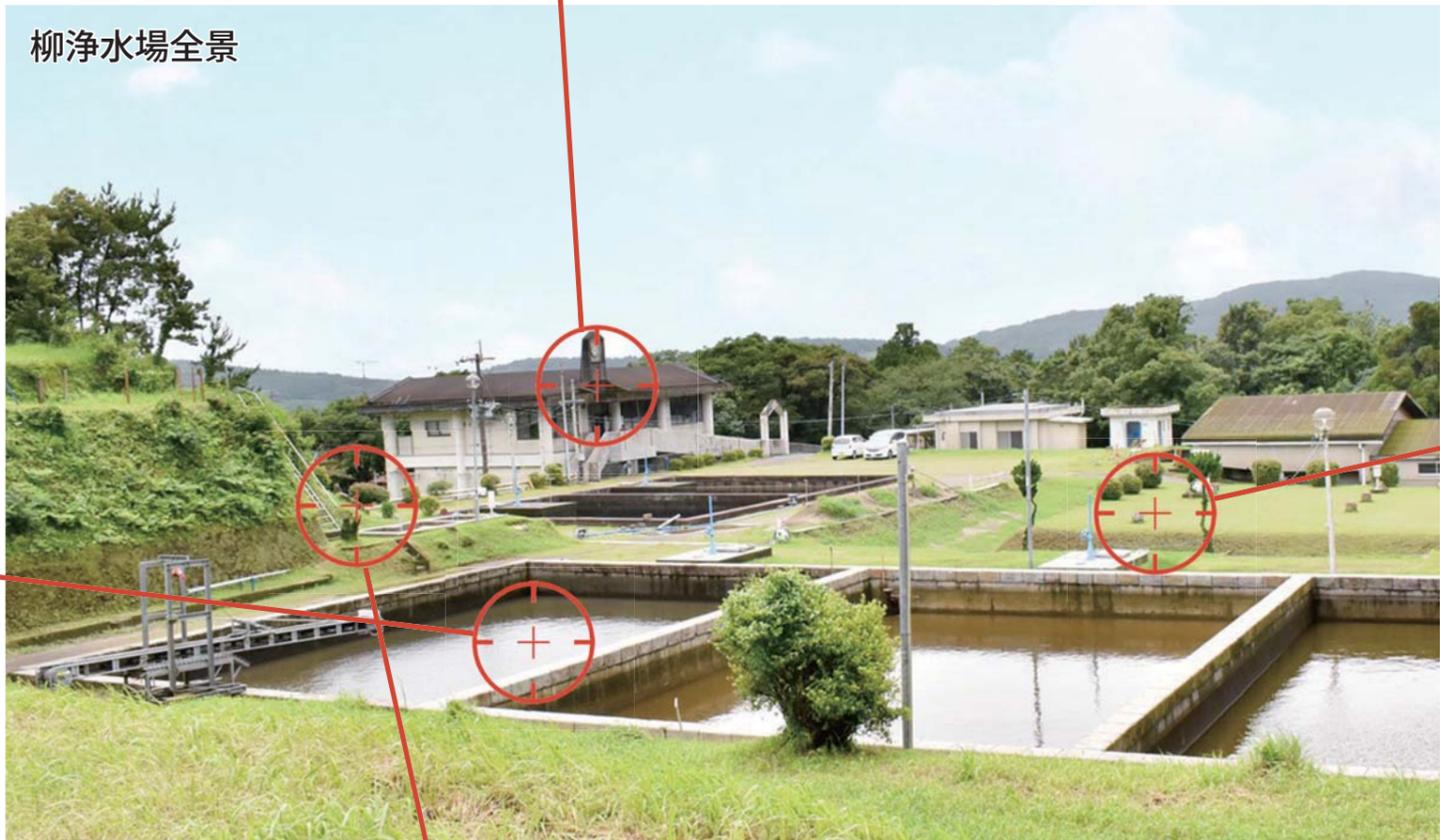


◀安定した水資源の恵みを祈願するため、柳浄水場内に水神様を祀っています。



▲今回見学した
西原台バドミントンスポーツ少年団
の皆さん

柳浄水場全景



▲きれいになった水を飲める水にするため、消毒してタンクに保管します。この丘の下に約2,000ℓの水が入る大きなタンクが埋まっています。



▲水を砂や砂利などの層に通して、ゴミを取り除きます。ろ過池はテニスコートより少し小さい広さで、全部で6つ設置されています。活用した砂は1か月に1回取り除きます。



こうか ひろき
江夏 大貴さん (串良小6年)

浄水場について学校で習ったことはありましたが、実際に本物を見てみると大きかったです。砂や石で水がきれいになることに一番驚きました。浄水場の見学は楽しかったです。

水をきれいにする仕組みがよく分かりました



▲柳浄水場の「水の入り口」です。浄水場に届いた水の量を調整する役割があります。



▲始良川取水口付近



▲高牧川取水口付近

市内の水を支える主な水源は地下水ですが、地表水としては、高牧川と始良川の2つの川を利用しています。取水された水は、その後それぞれ柳浄水場（上野町）と吾平浄水場（吾平町麓）の2か所に運ばれます。水はきれいにろ過され、それぞれの配水池から、吾平地区や上野地区、今坂地区などの家庭に届けられます。

鹿屋の水源として取水している2つの川